



IIXIL

彩樹(アヤージュ) A型

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●設置条件

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。

●基礎

- ・基礎は指定寸法以上にしてください。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物（給配水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう支持してください。

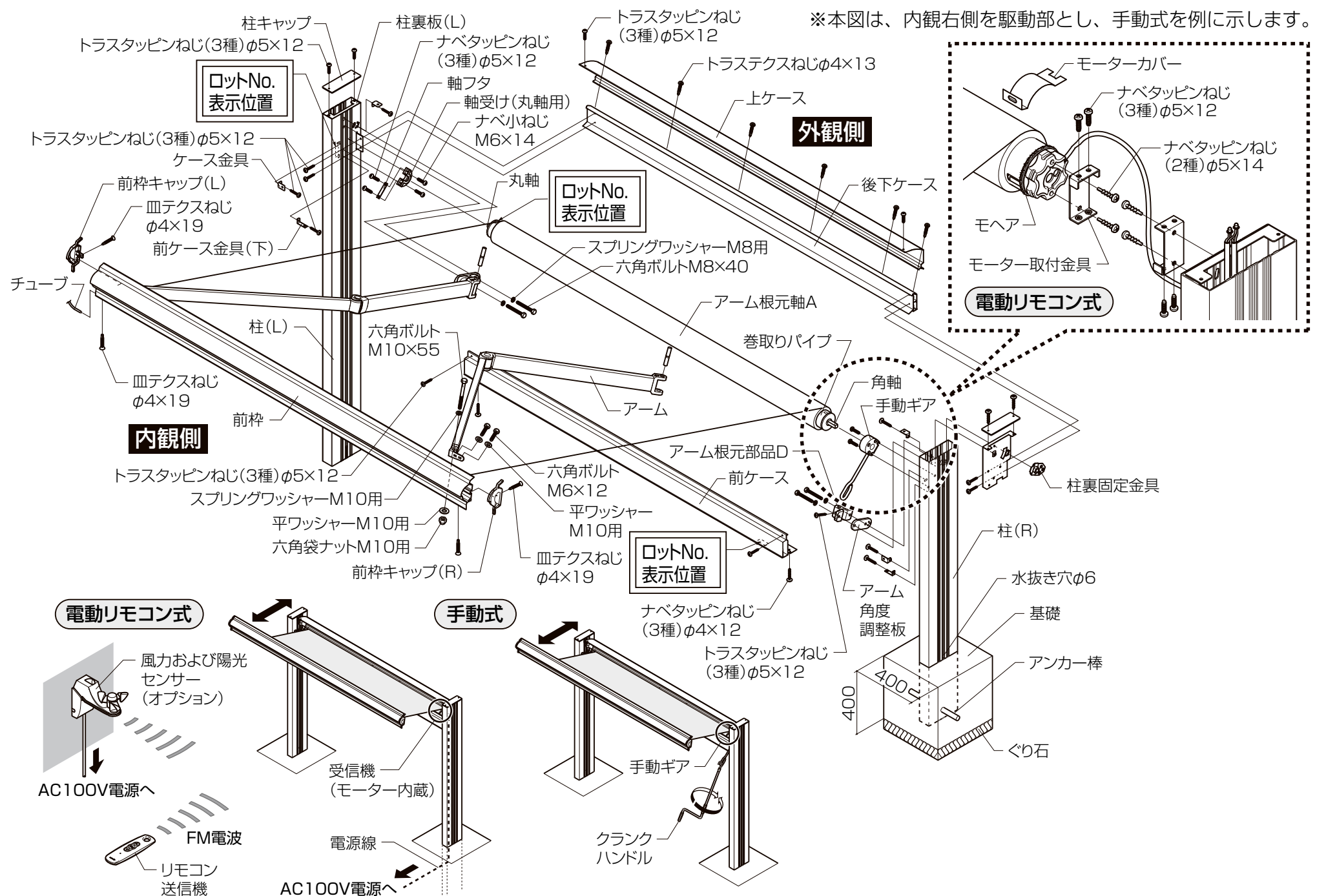
●強いスプリングでアームが伸びてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・アームを柱・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。
- ・アームバンドを外す際は、手で押さえてください。

■取付け上のお願

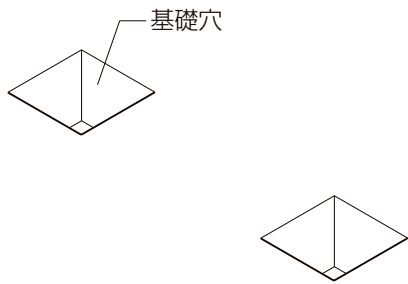
- 強風（10m/s以上）のとき、又は突風が予想される場合は、必ずキャンバスを巻取ってください。
- キャンバス生地は汚れ・キズが付きやすいので特に取扱いに気を付けてください。
- 水平・垂直は正確に出してください。施工に支障が出るおそれがあります。
- 特注寸法でご注文の場合、ケースセットなどは規格寸法品のため現場加工してください。

■構造説明図

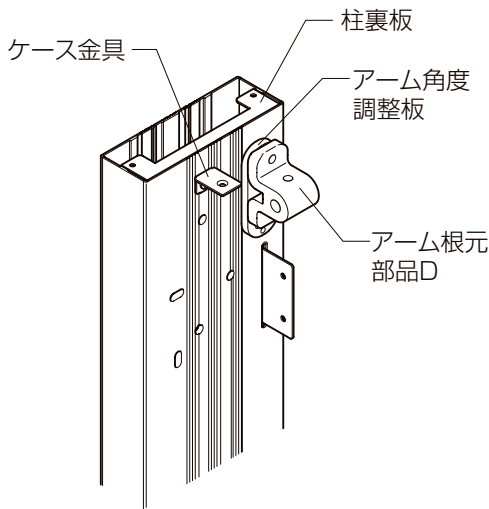


■取付け順序(本体)

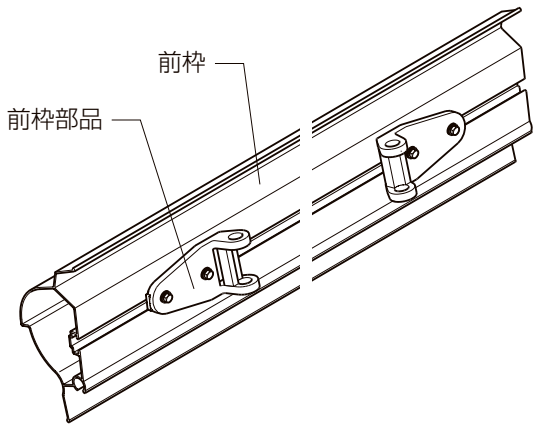
■1 基礎の施工



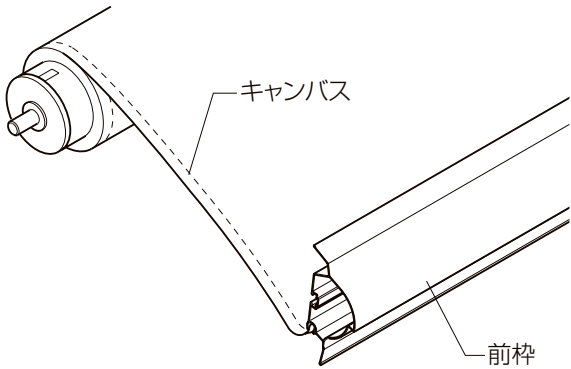
■2 柱の部品取付け



■3 前枠部品の取付け



■4 前枠キャンバスの組付け

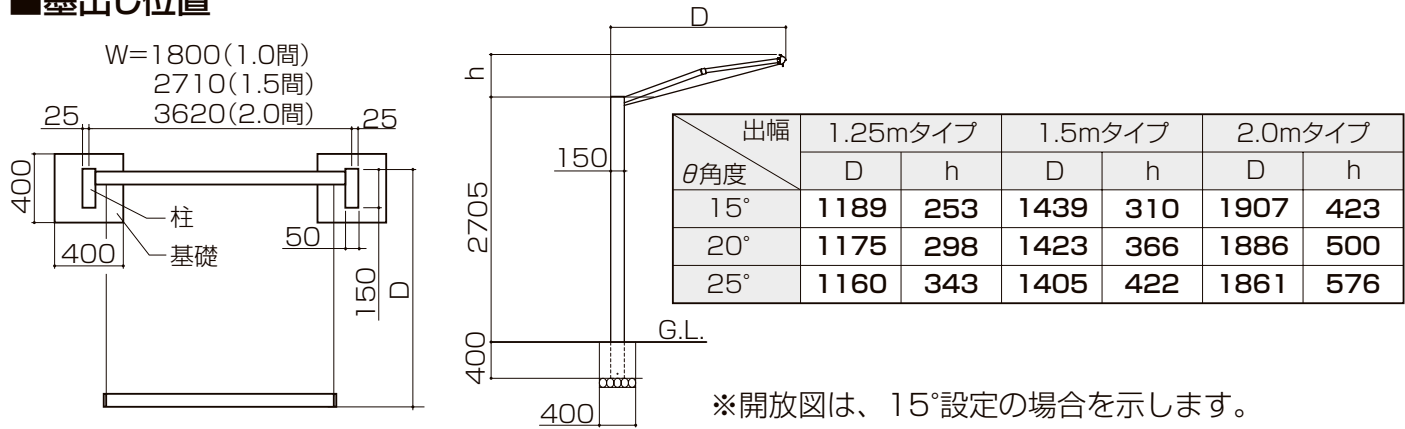


■取付け詳細(本体)

■1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

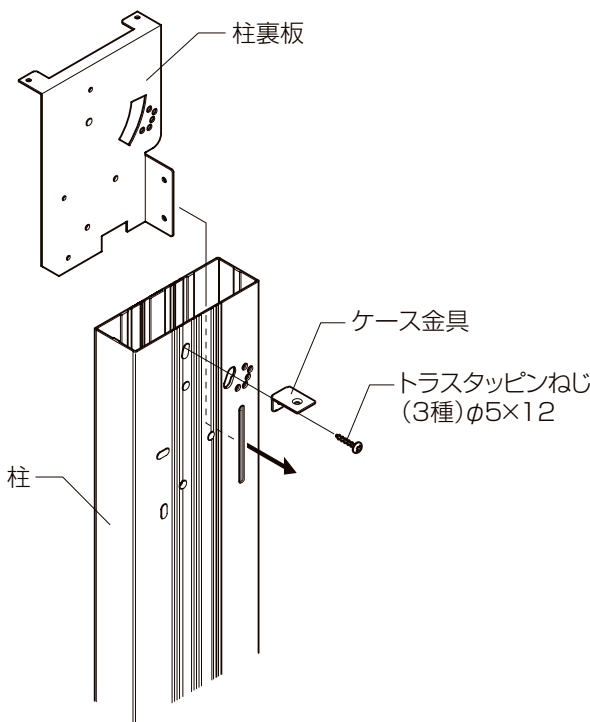
■墨出し位置



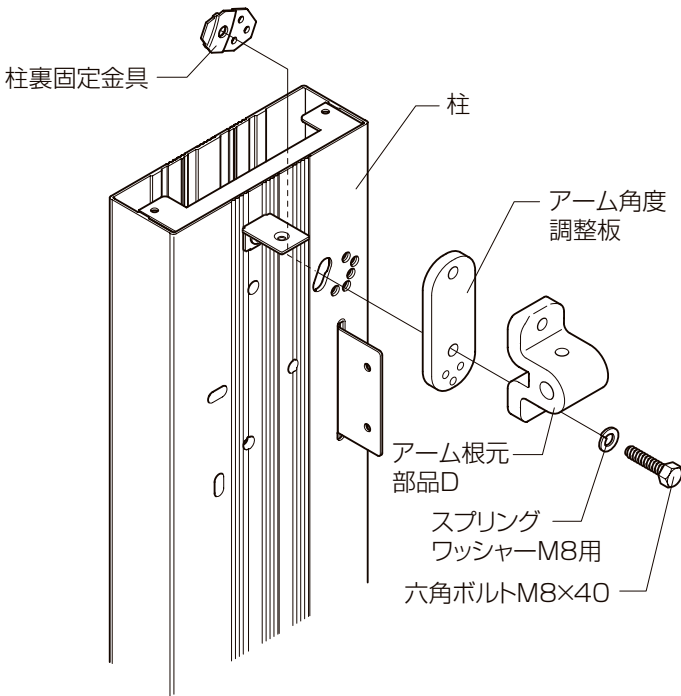
※開放図は、15°設定の場合を示します。

■2 柱の部品取付け

①柱裏板を柱内から差込み、ケース金具を取付けます。

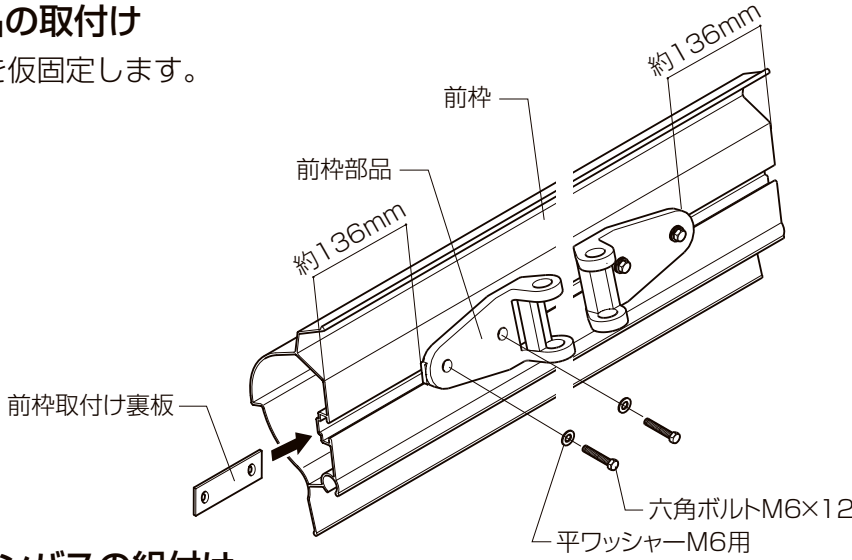


②アーム根元部品Dとアーム角度調整板を合わせてボルトと柱内に入れる柱裏固定金具で仮止めます。



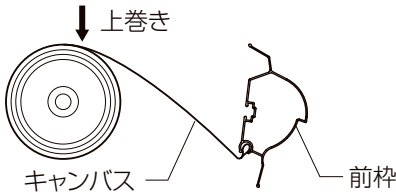
■3 前枠部品の取付け

●前枠部品を仮固定します。

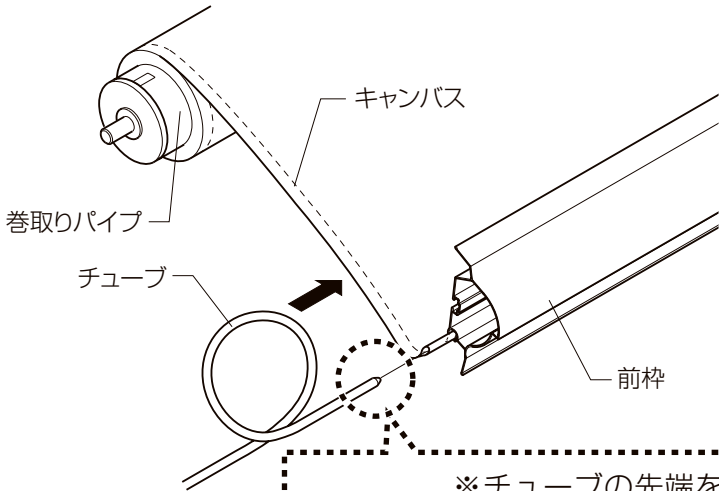
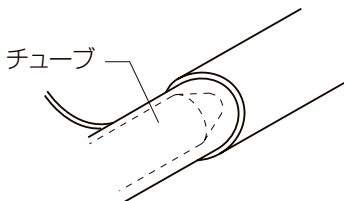


■4 前枠キャンバスの組付け

●キャンバスにチューブを差込み、前枠に組付けます。
※キャンバスは上巻き状態で取付けます。



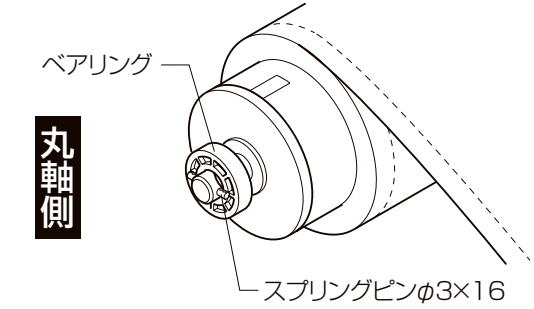
※チューブは生地为重なり部が下になっている側から挿入する方が入りやすいです。



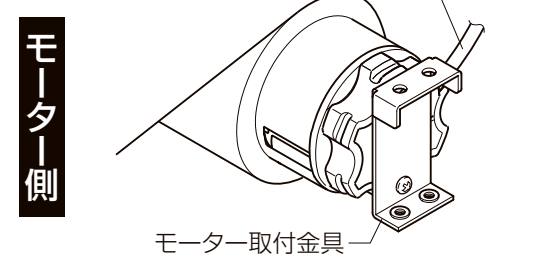
※チューブの先端を面取りすると容易に差し込めます。

チューブ

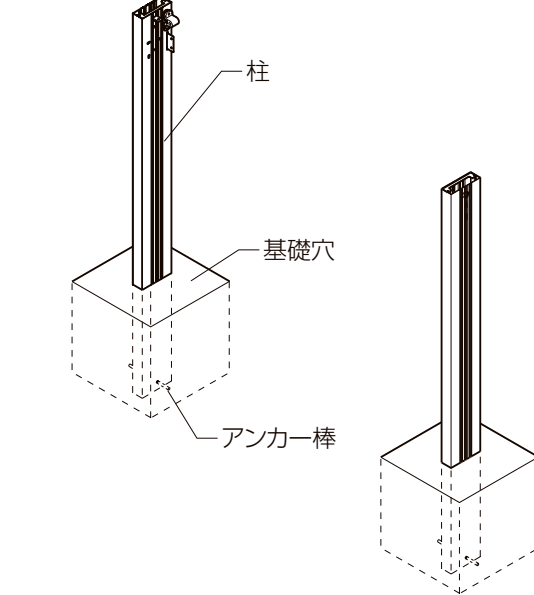
5 丸軸・駆動側の部品取付け



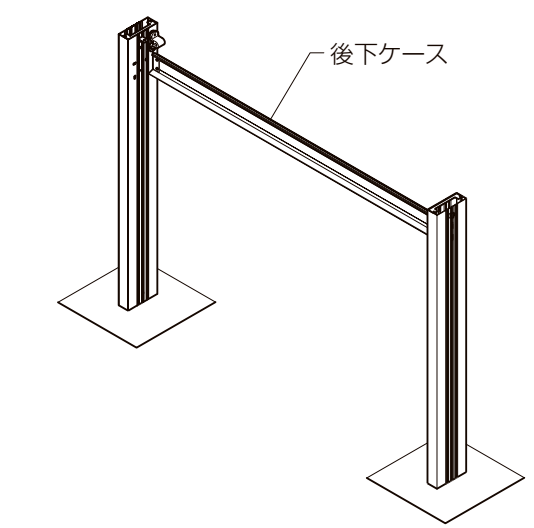
電動リモコン式



6 柱の建込み

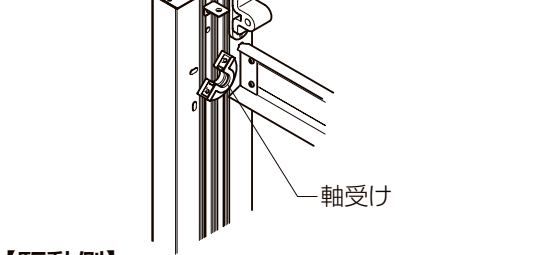


7 後下ケースの取付け



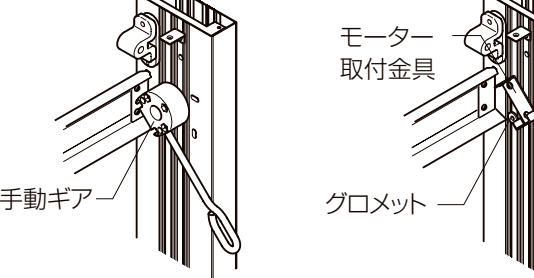
8 軸受け・手動ギア・
モーター取付金具の取付け

【丸軸側】

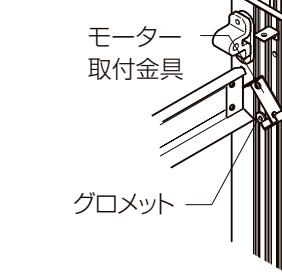


【駆動側】

手動式



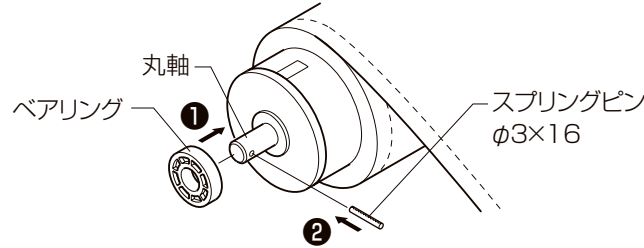
電動リモコン式



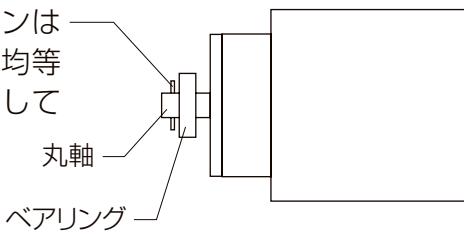
5 丸軸・駆動側の部品取付け

1 丸軸の部品取付け

●丸軸にベアリングを挿入し、スプリングピンφ3×16を丸軸に差込みます。



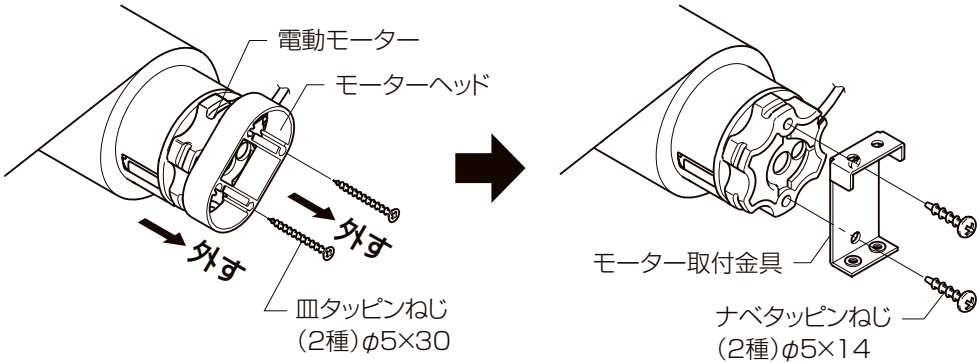
※スプリングピンは丸軸から両側均等に出るようにしてください。



2 駆動側の部品取付け（手動式の場合は6へ）

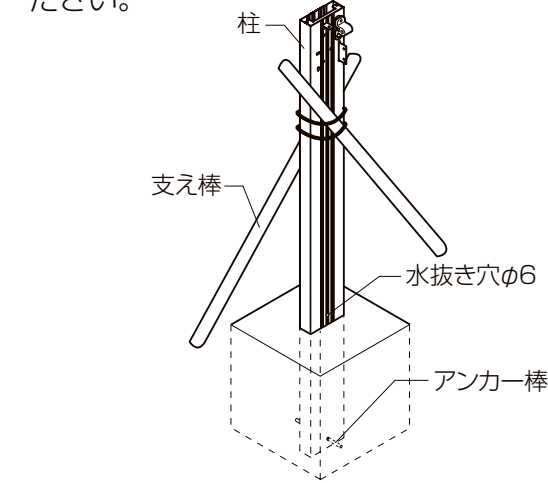
電動リモコン式

●モーターに付属のモーターヘッドを外し、モーター取付金具を取付けます。



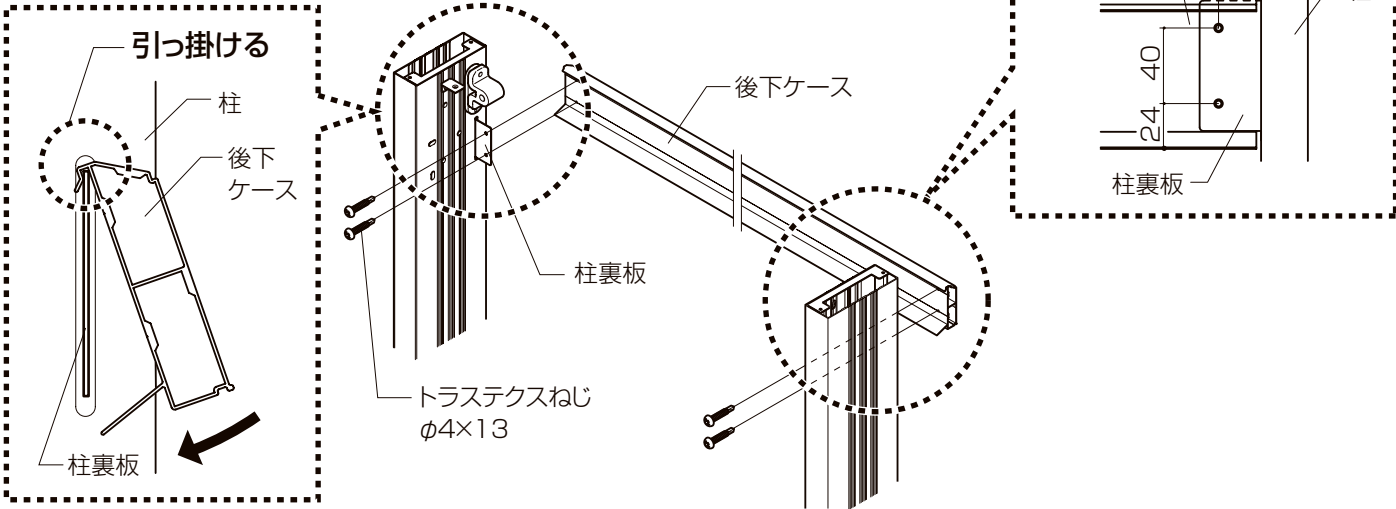
6 柱の建込み

●柱にアンカー棒を取付け、基礎穴に建込みます。
※柱が倒れないように支え棒などで仮固定してください。



7 後下ケースの取付け

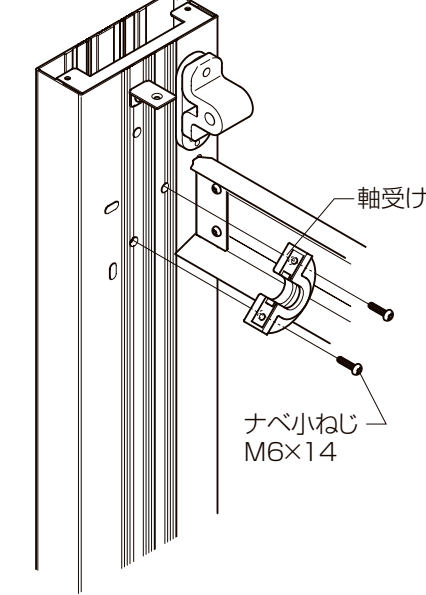
●柱裏板の突起に後下ケースを引っ掛け、ねじ止めします。



8 軸受け・手動ギア・モーター取付金具の取付け

●軸受け（丸軸側）と手動ギア（リモコン式はモーター取付金具）をねじ止めします。

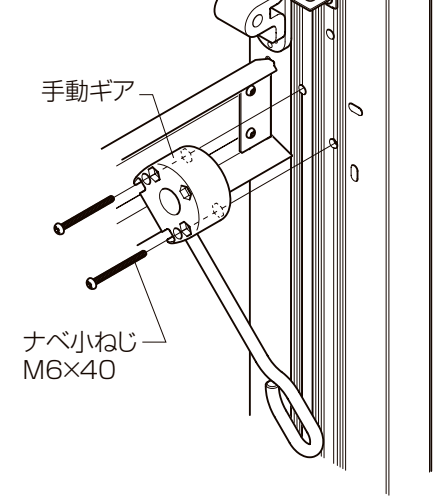
【丸軸側】



【駆動側】

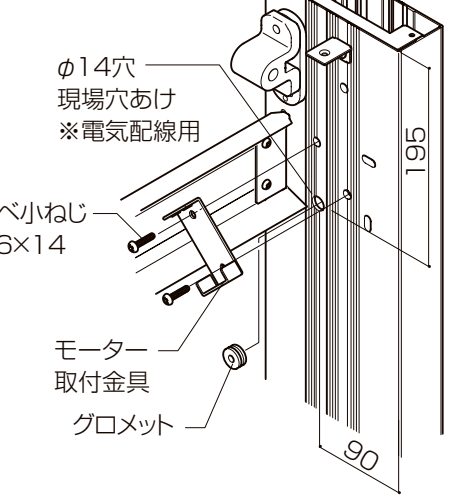
手動式

・手動ギア側

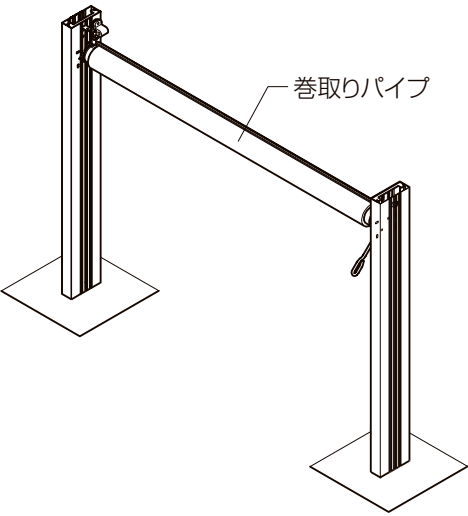


電動リモコン式

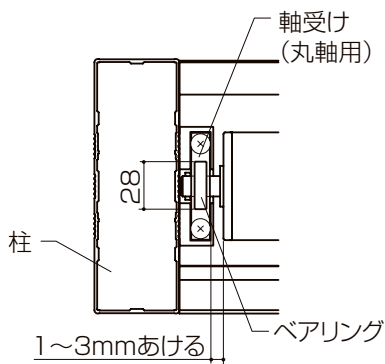
・モーター側



9 巻取りパイプの取付け



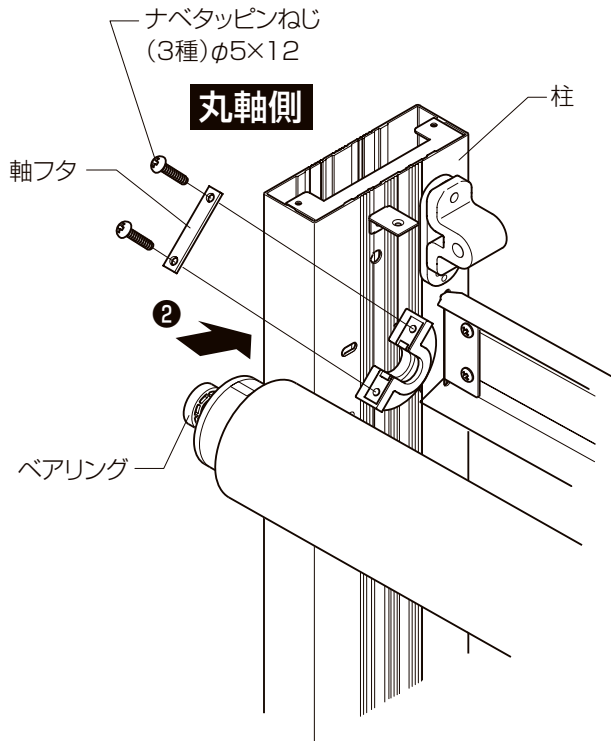
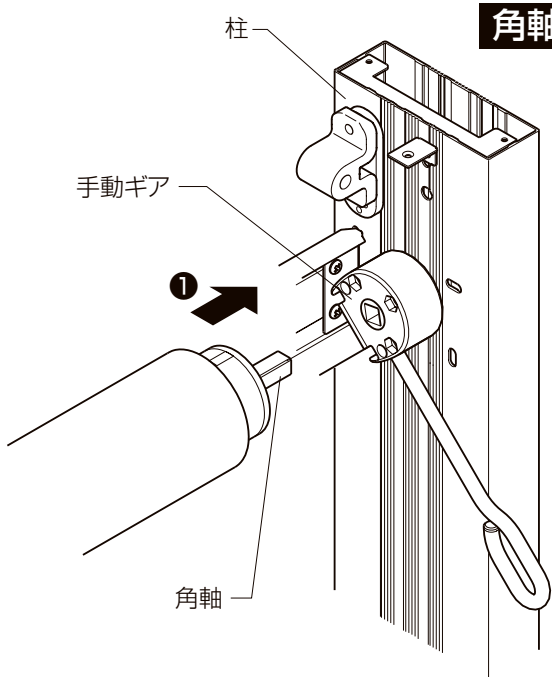
丸軸側平面図



9 巻取りパイプの取付け

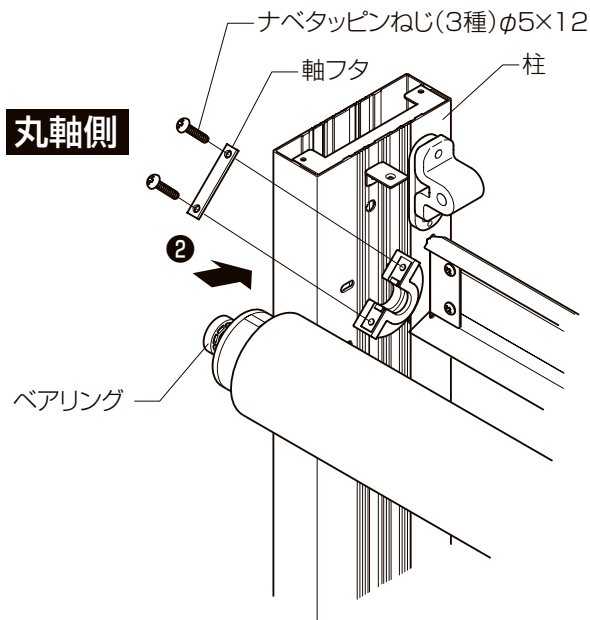
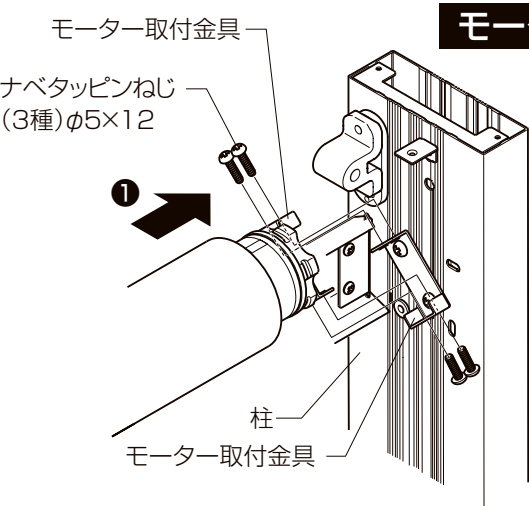
手動式 (電動リモコン式の場合は次へ)

- ①角軸を手動ギアに差します。
- ②丸軸のベアリングを軸受けにはめ、軸フタをねじ止めします。



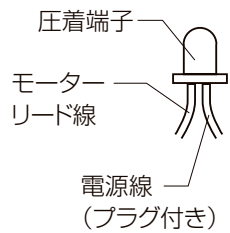
電動リモコン式 (手動式の場合は10へ)

- ①モーター取付金具同士を引っ掛け、ねじ止めします。
- ②丸軸のベアリングを軸受けにはめ、軸フタをねじ止めします。

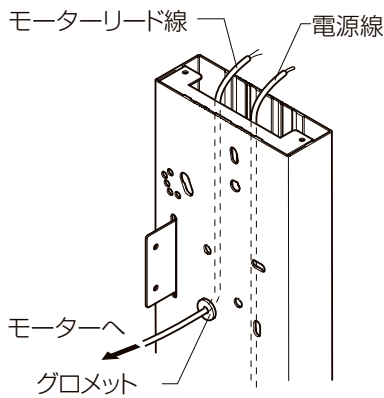
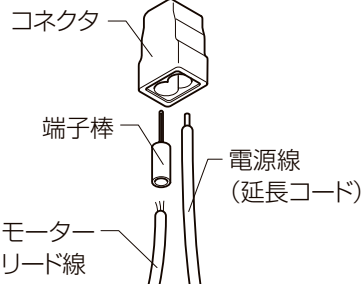


- ③モーター側柱のグロメットにモーターリード線を差込み、電源線と結線します。
- ※結線は圧着端子でカシメて確実に継いでください。次に絶縁テープで絶縁処理をしてください。

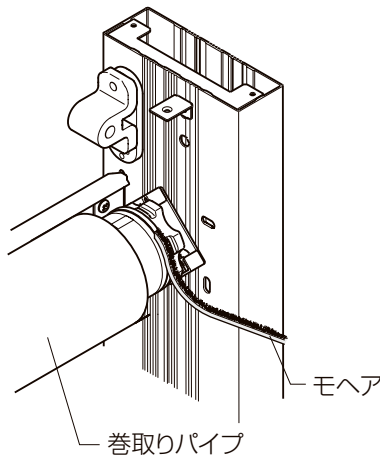
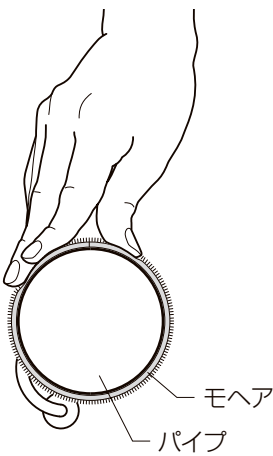
結線図



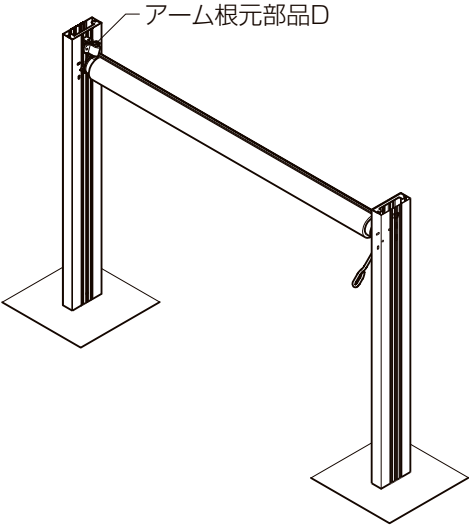
延長コード(オプション) 使用の場合



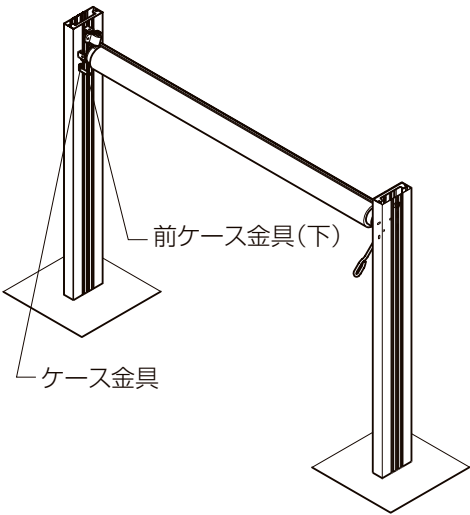
- ④モヘア張付け面 (モーター側巻取りパイプ先端) の汚れを取除きます。
- ⑤モヘアの取付け始点、終点を切り合わせて浮き上がらないように張付けて10秒以上押さえつけます。



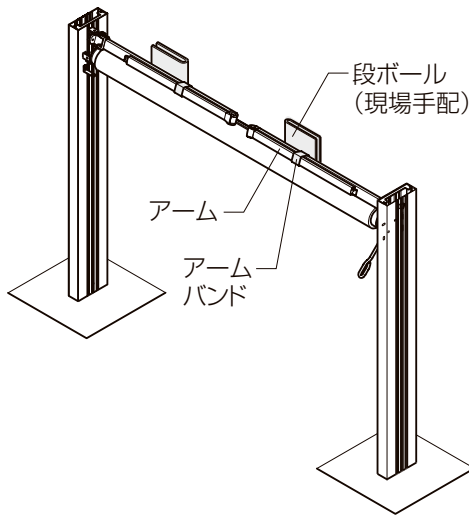
10 アーム根元部品Dの固定・アームの角度調整



11 ケース金具・前ケース金具(下)の取付け

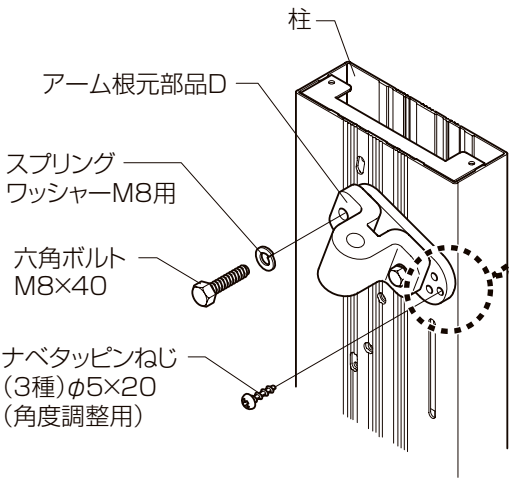


12 アームの取付け



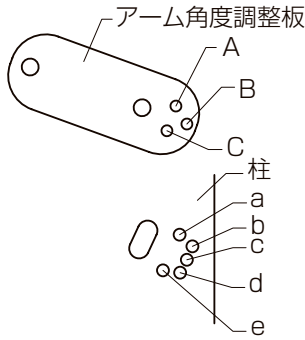
10 アーム根元部品Dの固定・アームの角度調整

- ①アーム根元部品Dをアーム角度調整板と合わせて固定します。
②角度調整ねじを取付ける穴位置で、角度を決めます。



■角度調整方法

- ねじ止めの組合わせにより角度を調整します。

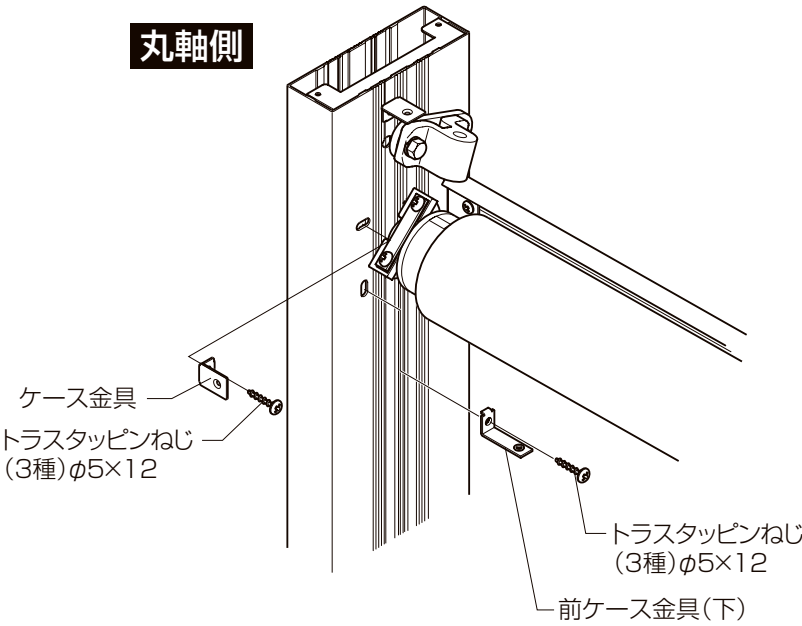


角度	アーム角度調整板	柱
15°	B	b
17.5°	A	a
20°	B	c
22.5°	C	e
25°	B	d

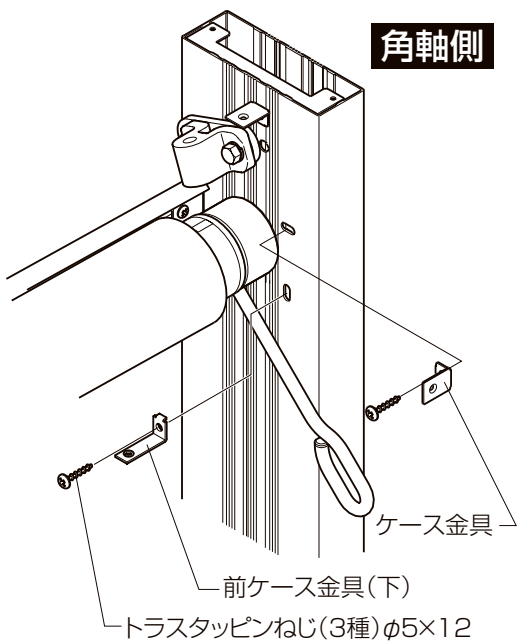
11 ケース金具・前ケース金具(下)の取付け

- ケース金具、前ケース金具（下）を柱に取付けます。

丸軸側

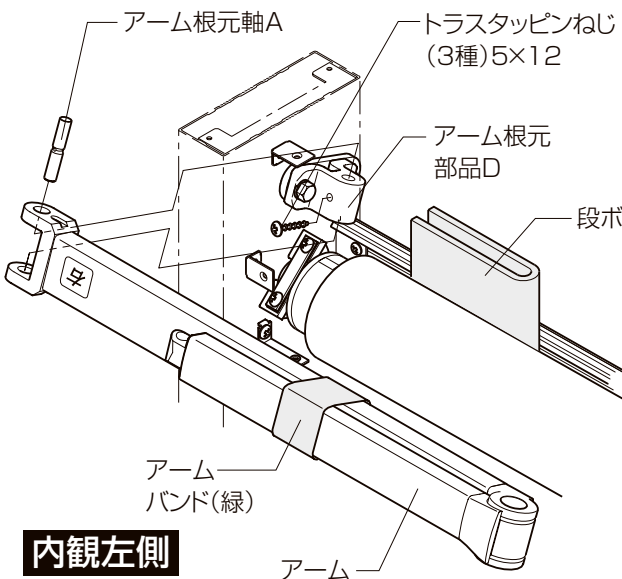
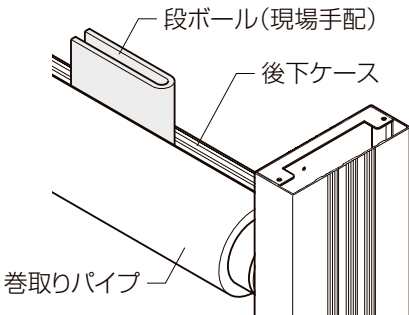


角軸側

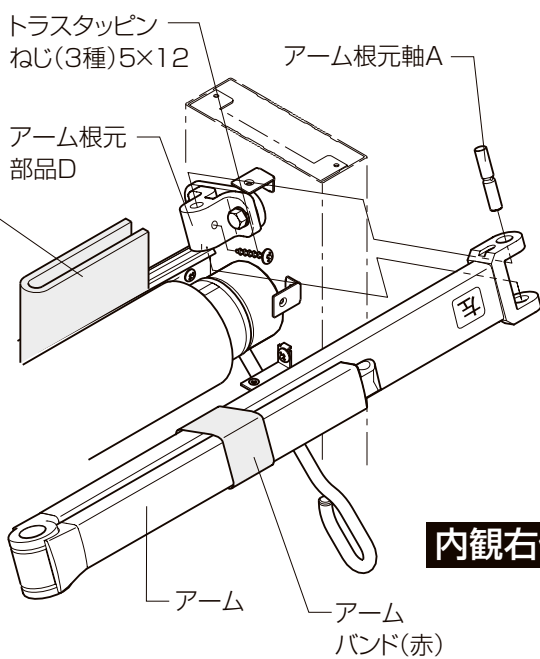


12 アームの取付け

- ①適当な大きさのダンボールを巻取りパイプと後下ケースの間に立てます。
※アームが、取付け時に垂れないように受けとして用意します。
②アームをアーム根元部品Dに取付けます。
③アーム根元部品Dとアーム根元軸Aをねじ止めします。
※アーム根元軸Aが動かないよう固定してください。

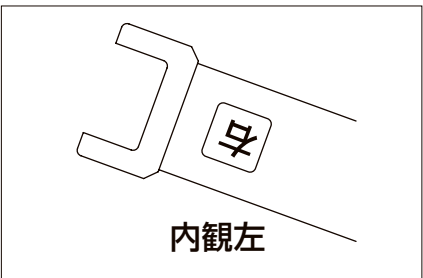


内観左側

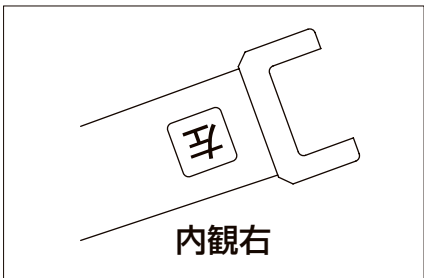


内観右側

※アーム根元の右・左の表示シールが天地逆になります。

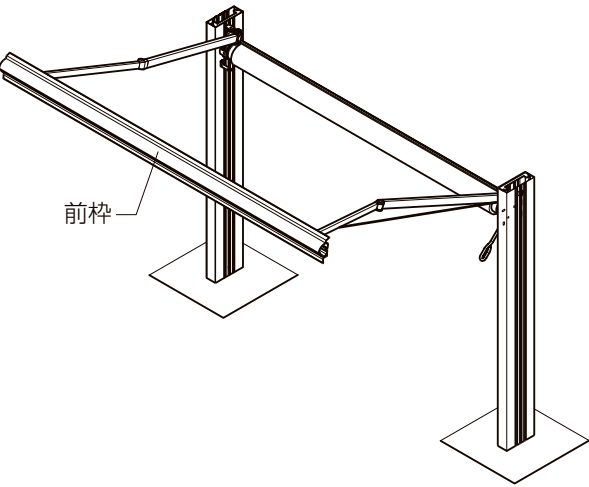


内観左

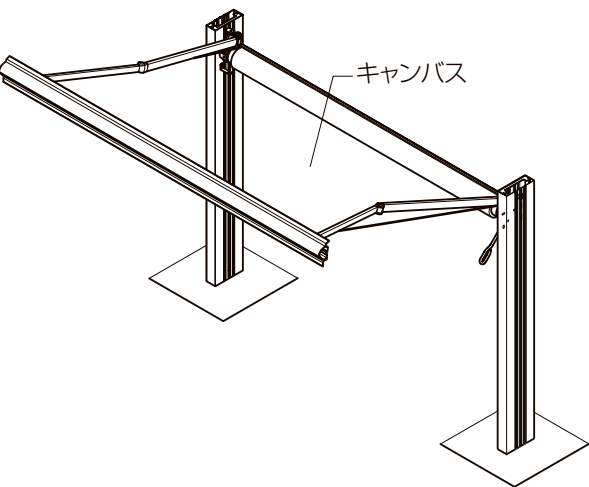


内観右

13 前枠の取付け

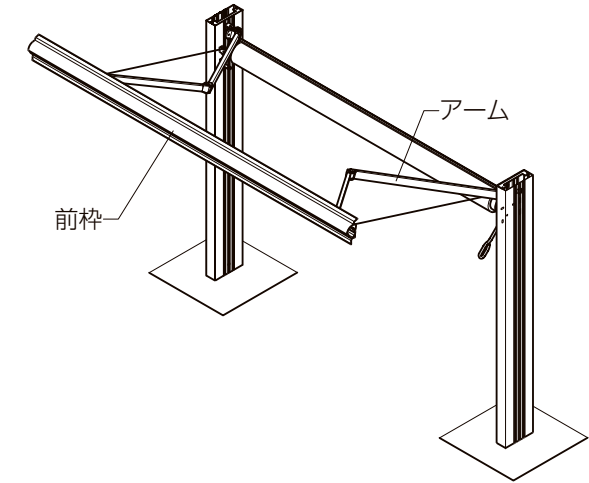


14 キャンバスの調整



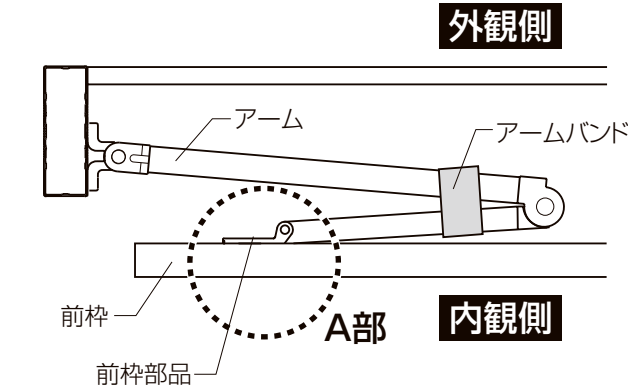
15 アーム取付け位置調整

※前枠が正常に開閉するまで、「14 キャンバスの調整」と「15 アーム取付け位置調整」を繰り返します。



13 前枠の取付け

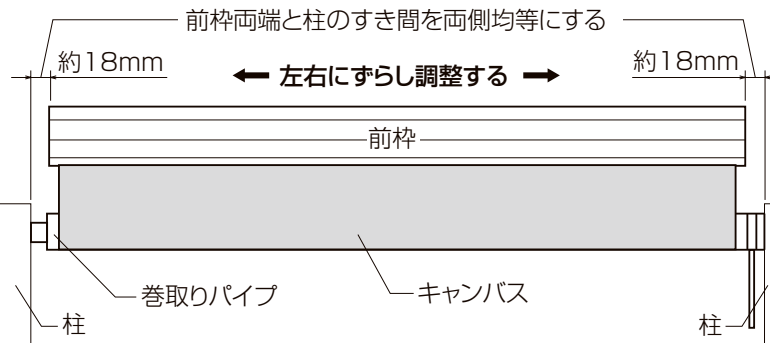
①前枠部品とアーム先端を取付けます。
※ボルトはスプリングワッシャーが少し変形する程度で軽く締めてください。
※開閉時に音鳴りがする場合は少しゆるめてください。



②アームバンドをゆっくりと外します。

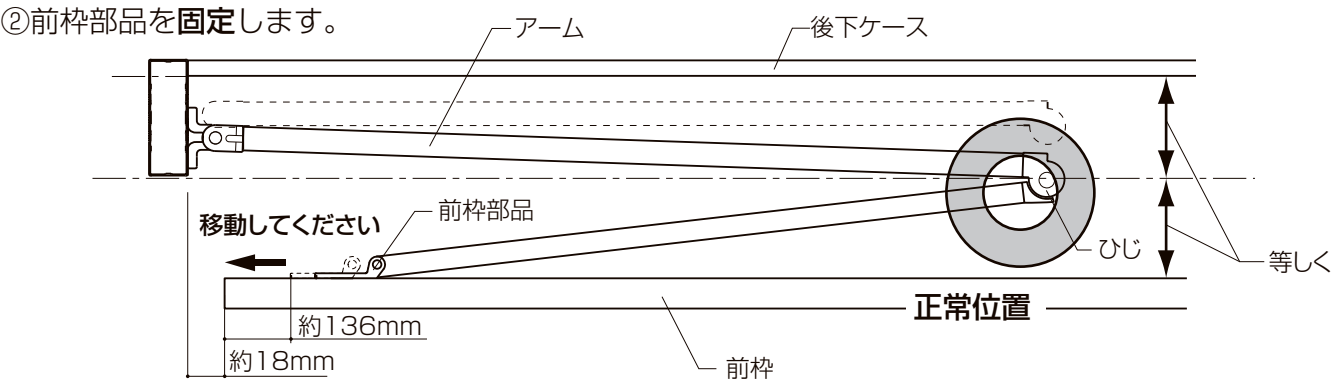
14 キャンバスの調整

①キャンバス巻きズレを直します。
※キャンバスを両側から引っ張り、キャンバスをきれいに張ります。
②前枠と柱のすき間が両側均等になるように前枠とキャンバスの位置を調整します。



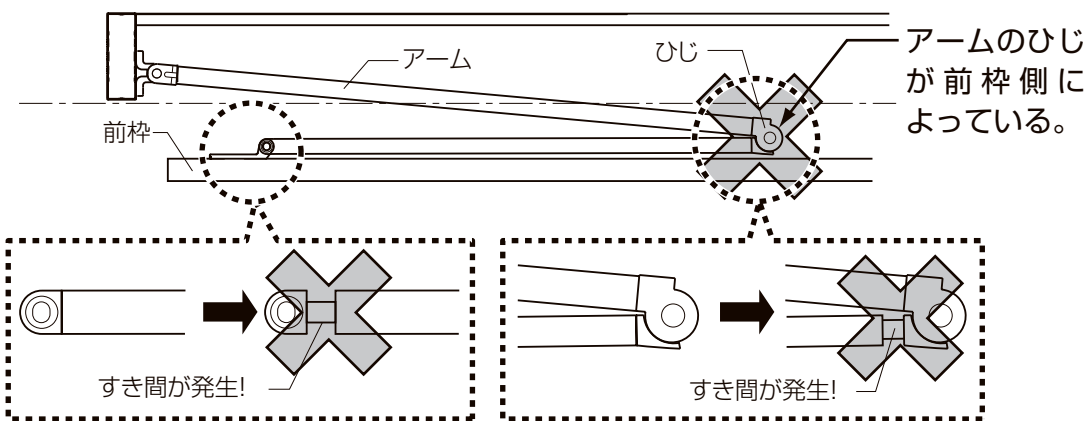
15 アーム取付け位置調整

※前枠が正常に開閉するように、アームの前枠側固定位置を調整します。
①前枠部品を下図のように数ミリづつ移動させ、アームのひじが前枠と後下ケースの間に位置するように調整します。
※アームのひじを持ち上げ、前枠部品をプラスチックハンマーで軽くたたいて少しずつ移動させます。
②前枠部品を固定します。

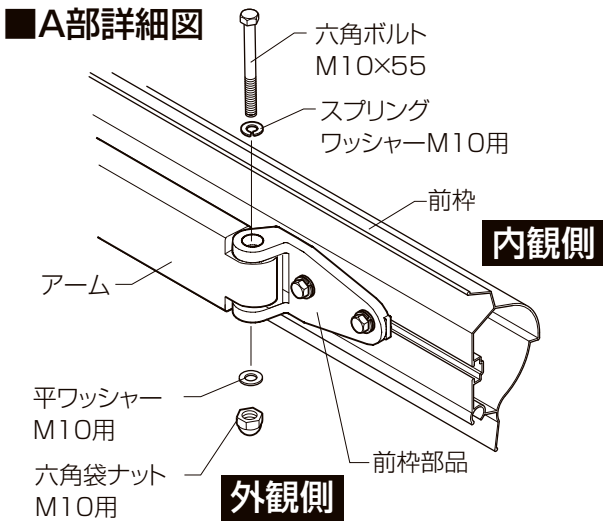


やってはいけないこと！

※上記の調整を行わないとアームのジョイント部が破損（すき間）します。



■A部詳細図

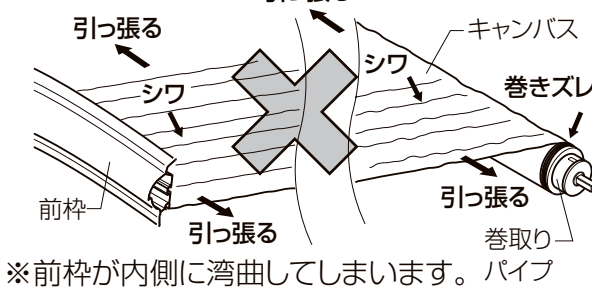


⚠ 注意

- 左右のアームを柱・前枠に取付け終わるまで、アームバンドを外さないでください。
- アームバンドを外す際は、手で押さえてください。

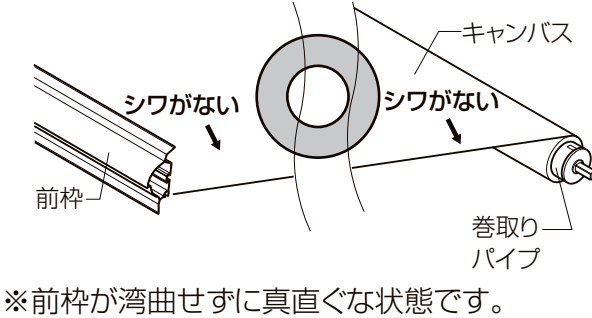


●シワがある状態



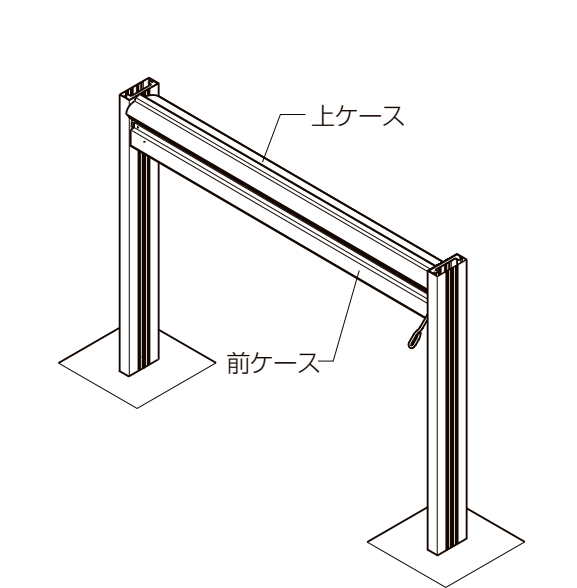
※前枠が内側に湾曲してしまいます。パイプ

●シワをとった状態



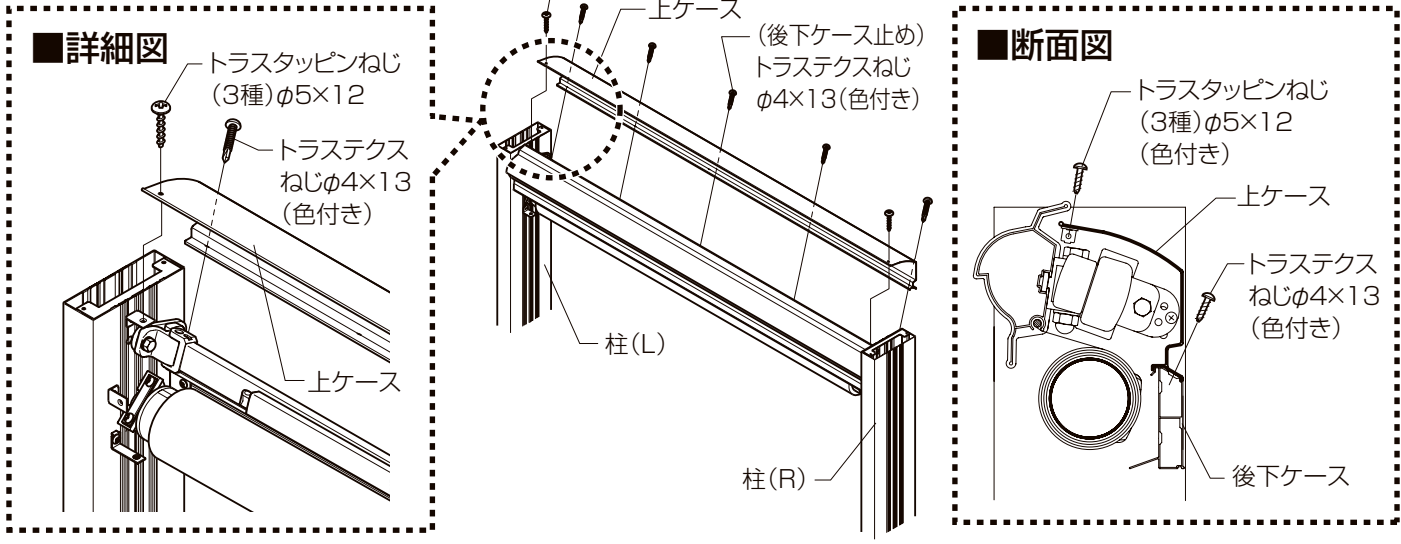
※前枠が湾曲せずに真直ぐな状態です。

16上ケース・前ケースの取付け



16上ケース・前ケースの取付け

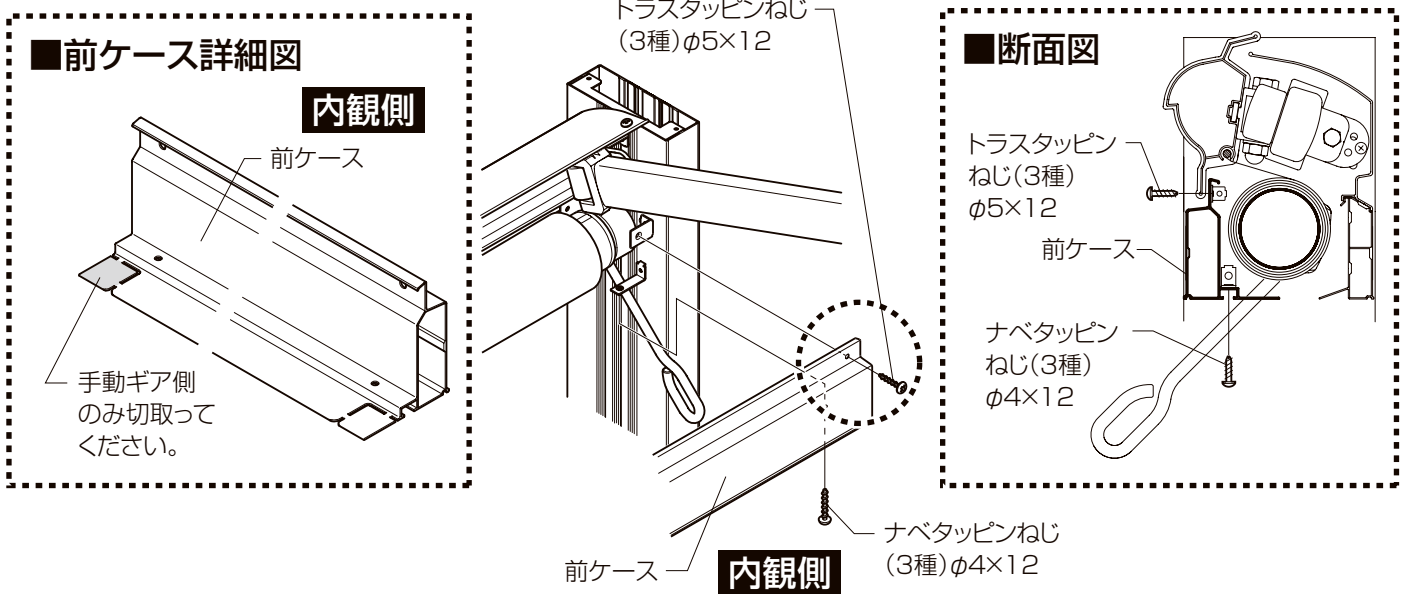
①上ケースを取付けます。



②前ケースを取付けます。

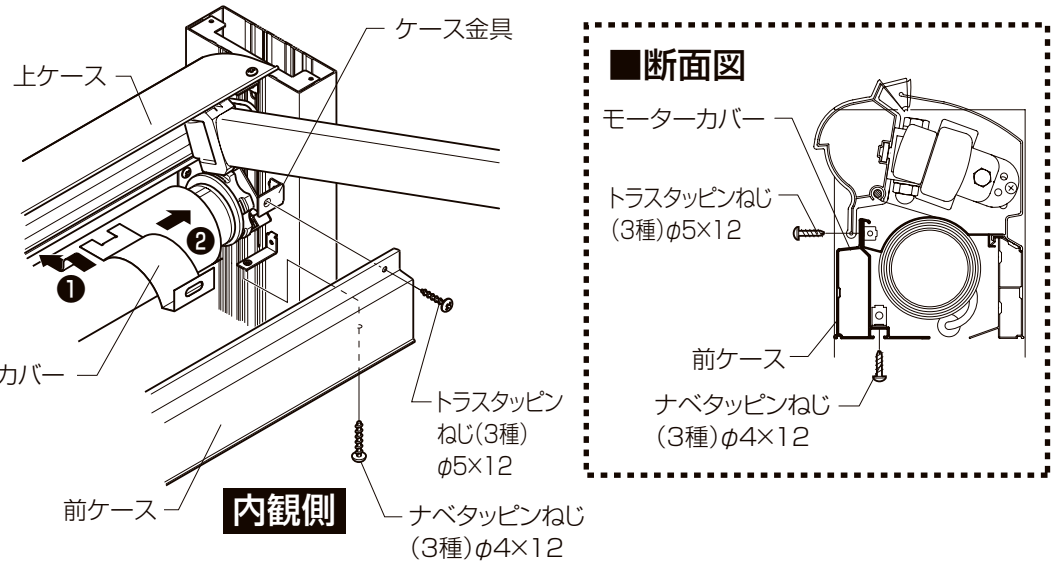
手動式 (電動リモコン式の場合は次へ)

●手動ギア側の前ケース端部を切取ります。
※ヤスリでバリなどを取ってください。

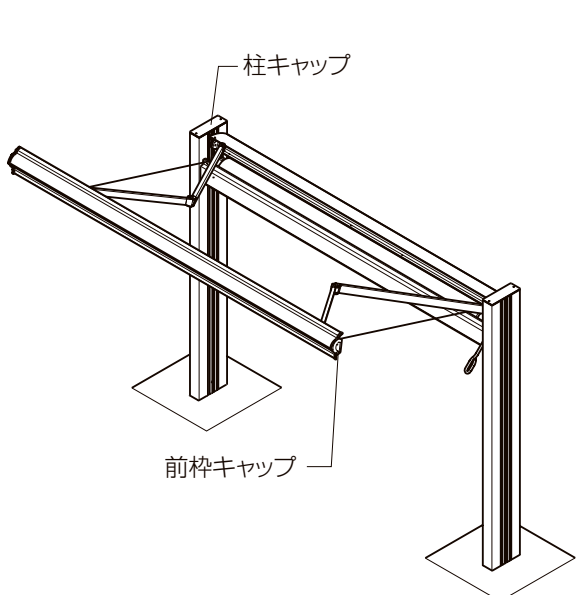


電動リモコン式 (手動式の場合は17へ)

①モータカバーを上ケース内部に引っ掛けます。
②モータにかぶるように柱に押付けます。
③モータカバーはケース金具の内部側になるようにします。
④前ケースを取付けます。

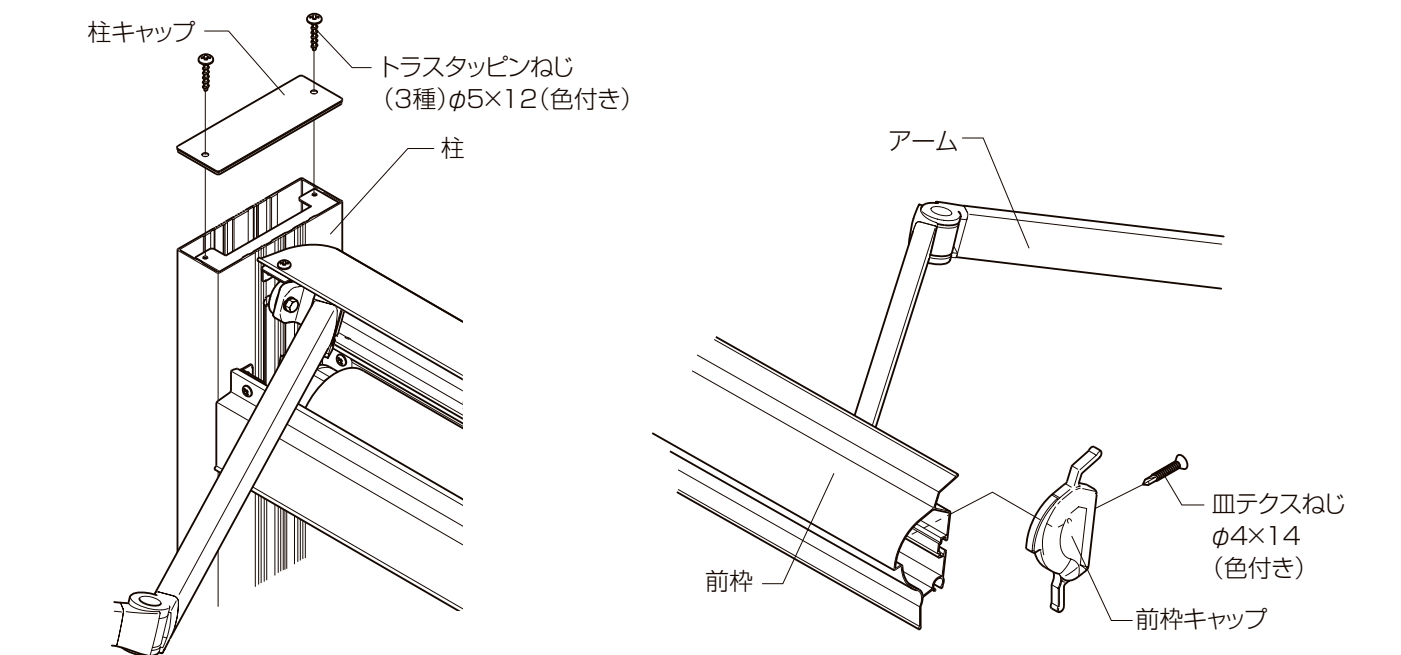


17キャップの取付け

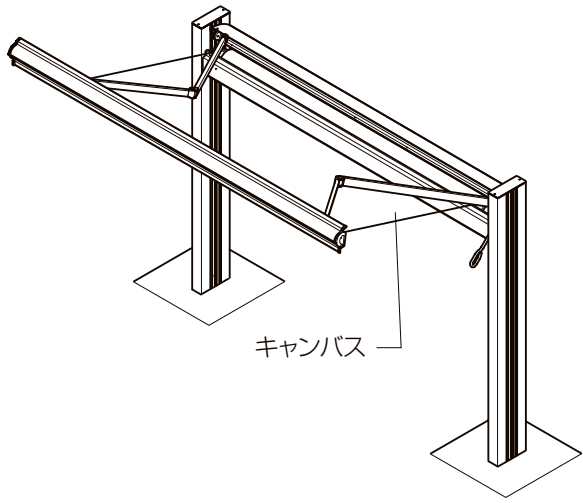


17キャップの取付け

①柱キャップを取付けます。
②前枠キャップを取付けます。

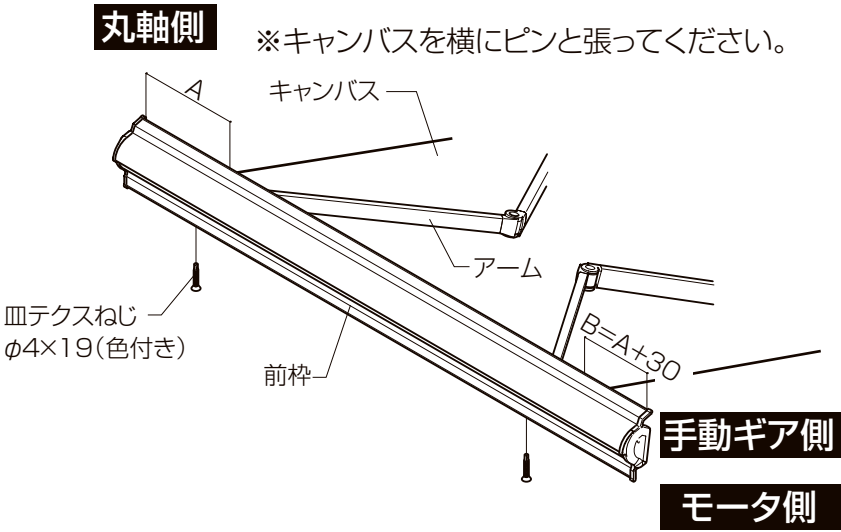


18キャンバスと前枠の固定



18キャンバスと前枠の固定

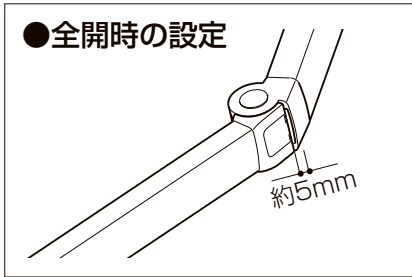
●キャンバスが横ずれしないようにキャンバスの少し外側でチューブをねじ止めします。
※キャンバスが巻きずれしないよう、前枠への取付け位置を調整してください。目安寸法は右図を参考にしてください。



19開閉リミット(限界)調整

■全開リミット(限界)設定

※全開の場合は、アームが伸びきった状態から少し巻戻した状態で設定してください。
伸びきった状態にすると風が吹いたときにアームが破損しやすくなります。又、巻戻し始めが重くなります。アームのひじ部品のベルトが5mm程度見えるように設定してください。



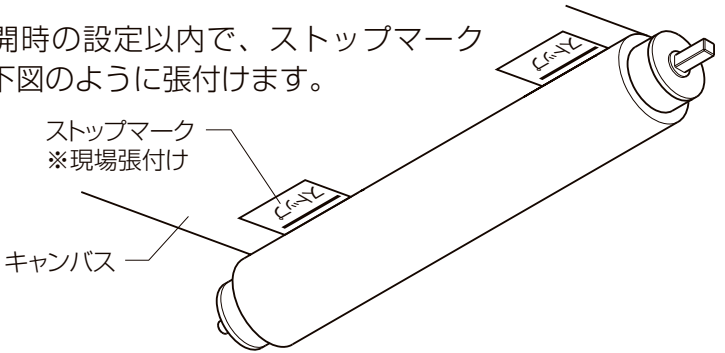
※キャンバスを張出す（開く）場合は、周囲に障害物（木の枝・電線・アンテナなど）がないか確認してください。

電動リモコン式

※リミット調整された範囲内であれば、途中停止状態でも使用できます。

手動式（電動リモコン式の場合は次へ）

【閉じるとき】 ※ストッパーはありませんので、前枠が止まる直前で止めてください。
【開くとき】 ※全開時の設定以内で、ストップマークを下図のように張付けます。



■開閉リミット(限界)調整（手動式の場合は次へ）

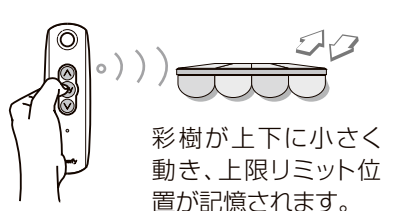
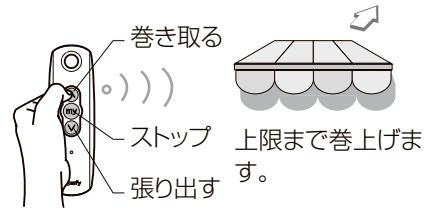
電動リモコン式

※開閉をひんぱんに繰り返すと設置途中でモータ温度が上がり、安全装置により電源が切れます。30分ほど休ませれば再び動きます。ただし、設定は元の状態に戻ります。施工時は5秒動かすと2秒止める間隔で操作してください。

※リミット位置は工場出荷時に仮設定しています。上限・下限リミット位置の本設定をします。

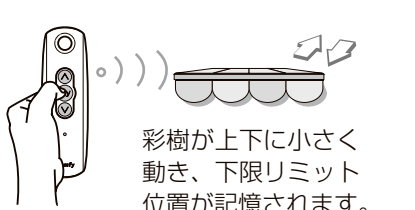
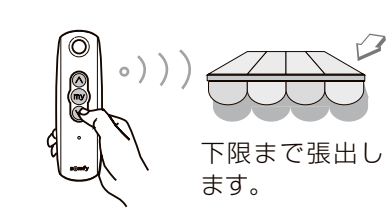
1 上限リミット位置の設定

- ①「UP▲」ボタンを押し、上限リミット位置まで巻上げます。
- ②「UP▲」と「DOWN▼」ボタンを同時に約5秒押します。
※中途位置では反応しません。
- ③「UP▲」「DOWN▼」ボタンで希望する上限位置に合わせます。
※このとき、スイッチの赤ランプが点灯（5秒間）している間だけ動きます。大きく動かしたい場合は数回ボタン操作をくり返してください。
- ④「STOP」ボタンを約2秒押します。



2 下限リミット位置の設定

- ①「DOWN▼」ボタンを押し、下限リミット位置まで張出します。
- ②「UP▲」と「DOWN▼」ボタンを同時に約5秒押します。
※中途位置では反応しません。
- ③「UP▲」「DOWN▼」ボタンで希望する下限位置に合わせます。
※このとき、スイッチの赤ランプが点灯（5秒間）している間だけ動きます。大きく動かしたい場合は数回ボタン操作をくり返してください。
- ④「STOP」ボタンを約2秒押します。



■メンテナンス

●キャンバスの交換

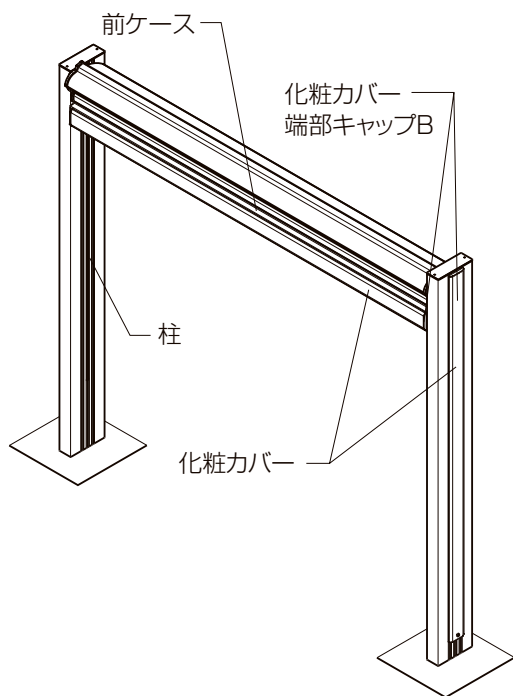
- ①前枠からチューブを抜き、キャンバスを外します。
- ②巻取りパイプからキャンバスをほどいて外します。
- ③新しいキャンバスを巻取りパイプに一直線になるようマジックテープで取付けます。
- ④前枠にチューブでキャンバスを差込みます。
- ⑤キャンバスの巻きずれがないか確認し、キャンバスを巻取ります。

■施工後のチェック項目

丸軸と軸受けの間は1～3mmあいているか	4ページ
アームの左右・取付け方法は適正か	5ページ
アームのひじが前枠や巻取りパイプに当たっていないか	6ページ
アームのひじが上ケースに当たっていないか	6ページ
全開の場合、アームのひじは5mm程度開いているか	8ページ
前枠は断面図通り納まっているか	10ページ
キャンバスのたるみ・シワ・巻きズレはないか	6ページ

■1 化粧カバーの加工

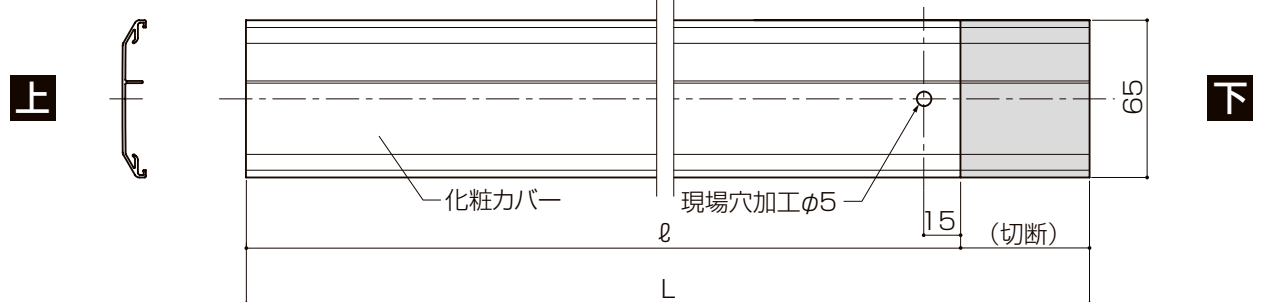
■化粧カバーの取付け



■化粧カバーの加工(柱用)

取付け位置	L	ℓ(切断後)
柱	2655	2650
ケース1.0間	1745	—
ケース1.5間	2655	—
ケース2.0間	3565	—

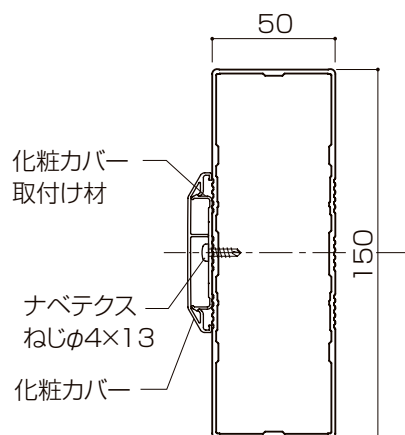
【柱に取付ける場合】



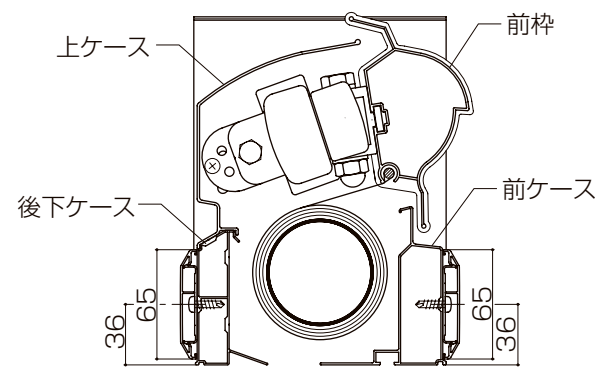
■化粧カバーの取付け

①柱（又はケース）にφ3.2の下穴をあけ、化粧カバー取付け材を取付けます。
②化粧カバーに化粧カバー端部キャップBをはめ、化粧カバー取付け材に取付けてください。
※柱に取付ける場合は、下部に写し穴φ3.2をあけ、キャップと共にねじ止めします。

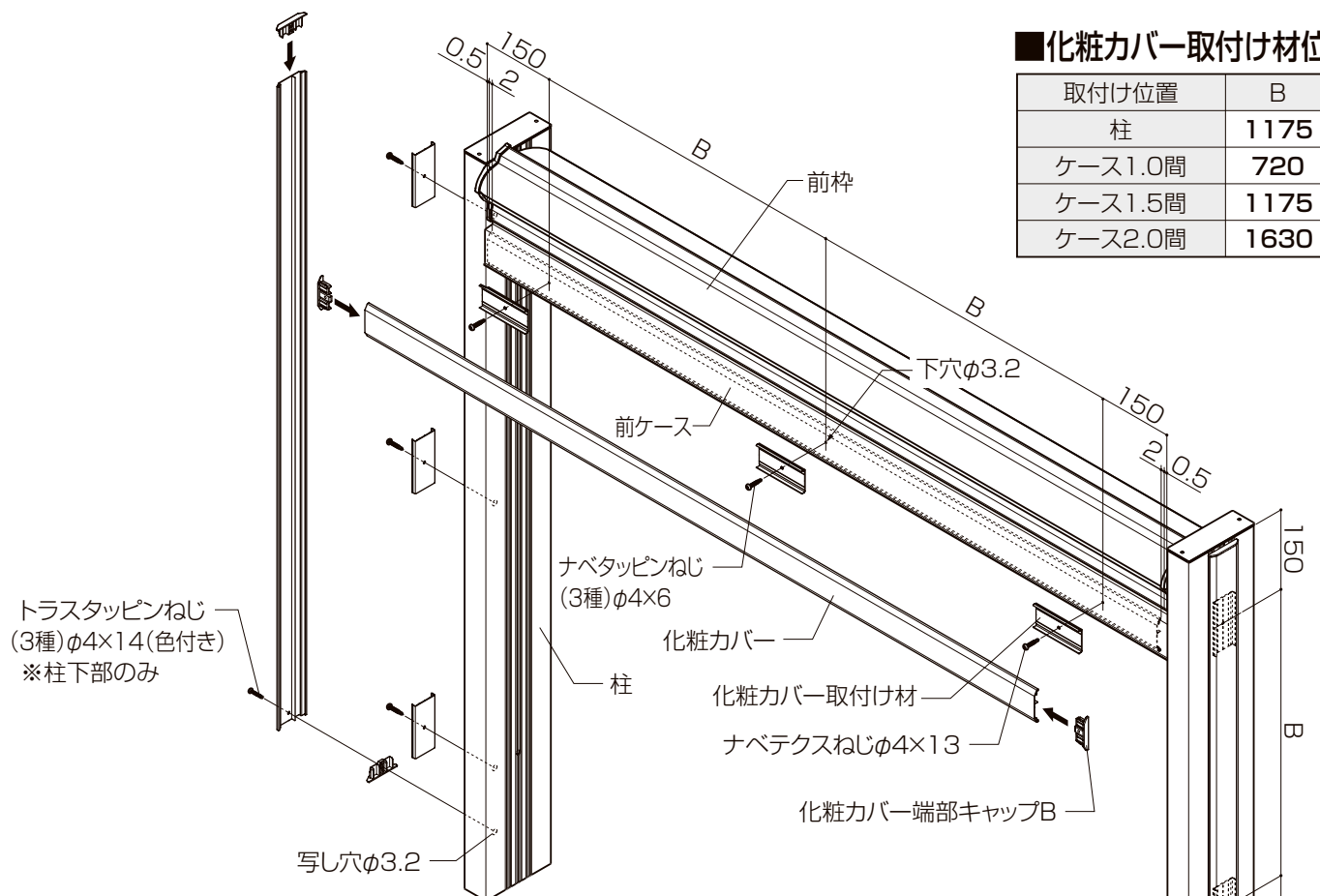
●柱



●後下ケース／前ケース



取付け位置	B
柱	1175
ケース1.0間	720
ケース1.5間	1175
ケース2.0間	1630



■拡大図

柱

化粧カバー

化粧カバー取付け材

化粧カバー端部キャップB

前ケース・後下ケース

2

0.5

150

B

